

コロナによるプロ野球の利益への影響を二つの売り上げから考える

保健班：大西晴敦 細川碧海

要約

本研究の目的は新型コロナウイルスによってプロ野球が受けた損失を明らかにすることである。また今回は阪神タイガースに注目して調査を行った。2020年、2019年、2018年のチケット販売や飲食物販売による阪神タイガースの新型コロナウイルスによる損失を調査した結果、年間約110億円の損失が発生することが判明しました。また、これらの売上高は観客数と強く関連していることがわかりました。

Abstract

The purpose of this study is to clarify the loss suffered by professional baseball due to the new coronavirus. This time, we focused on the Hanshin Tigers. As a result of investigating the loss caused by the new Hanshin Tigers coronavirus due to ticket sales and food and drink sales in 2020, 2019 and 2018, it was found that an annual loss of about 11 billion yen will occur. We also found that these sales were strongly related to the number of spectators.

1. 序論

2020年度現在新型コロナウイルスが飲食店、医療関係、旅行会社及び航空会社などあらゆる分野に多大な影響を与えその損失は甚大なものとなっている中、時には子供たちの目標となり、時には人々が1日の活動を頑張る理由となるプロ野球。そんなプロ野球においても度重なる開幕の延期、シーズン中も選手の感染による戦力の低下など様々なことに悩まされた。そんな中でコロナがプロ野球の経営面に与えた損失もまた憂慮されるべき問題である。コロナ対策の一環として実施された観客数制限による観客数の減少がチケット売り上げの減少や球場内の飲食物の売り上げの減少などに繋がり、プロ野球が受けた損失の大きな要因となっている。本研究では2020年と2019年、2018年の観客動員数を比較し、そこから①年間のチケット料金の売り上げ及び②球場内の飲食物料金の売り上げを計算し、プロ野球が受けた損失を考えた。

2. 研究手法

前提として、阪神タイガースへの取材により観客数減少によるチケット売り上げ及び飲食物売り上げの減少が最も大きく損失に影響を及ぼしたことがわかっている。

調査(1)、阪神タイガースの甲子園球場での1試合あたりの平均観客動員数及び1人あたりのチケット料金を調べ(チケット料金は全て大人料金として考え、全座席の値段の平均を取る。)、1試合あたりの平均チケット売り上げを計算し、2020年と2019年、2018年を比較す

る。

調査（２）、同球団、同球場での全試合の観客動員数を調べ、全試合のチケット売り上げを計算し、2020年と2019年、2018年を比較する。

調査（３）、同球団、同球場での1試合あたりの平均飲食物売り上げを調べ、2020年と2019年、2018年を比較する。

調査（４）、同球団、同球場での全試合の飲食物売り上げを調べ、2020年と2019年、2018年を比較する。

調査（５）、研究（１）と研究（３）、研究（２）と研究（４）の各年度の売り上げを合計し比較する。

今回の調査において損失とは2018年、2019年、に比べて2020年の利益がどれくらい減ったかを指すものであり、阪神タイガースの2020年の利益が赤字になったということ指すものではない。

3. 結果・分析

1人当たりのチケット料金は4012.5円であった。

調査（１）の結果は表1のようになった。

表1

シーズン	1試合平均入場者数(万人)	1試合のチケット収益(万円)
2018	4.15	16653
2019	4.28	17157
2020	0.86	3464

調査(2)の結果は表2のようになった。

表2

シーズン	全試合入場者数(万人)	全試合のチケット収益(万円)
2018	249	999161
2019	278	1115234
2020	51.7	207825

調査(3)、(4)の結果は表3のようになった。

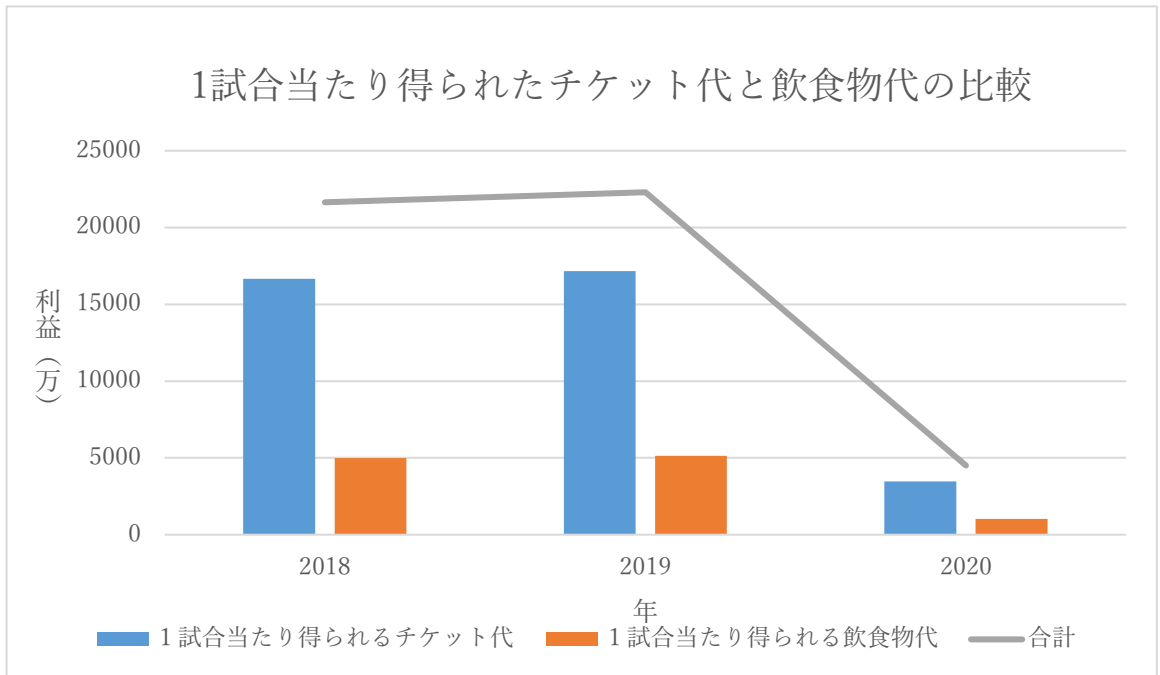
表3

シーズン	1試合の飲食物売り上げ(万円)	全試合の飲食物売り上げ(万円)
2018	4989	1298500
2019	5140	1449347
2020	1038	270087

調査（５）の結果は以下の通りになった。

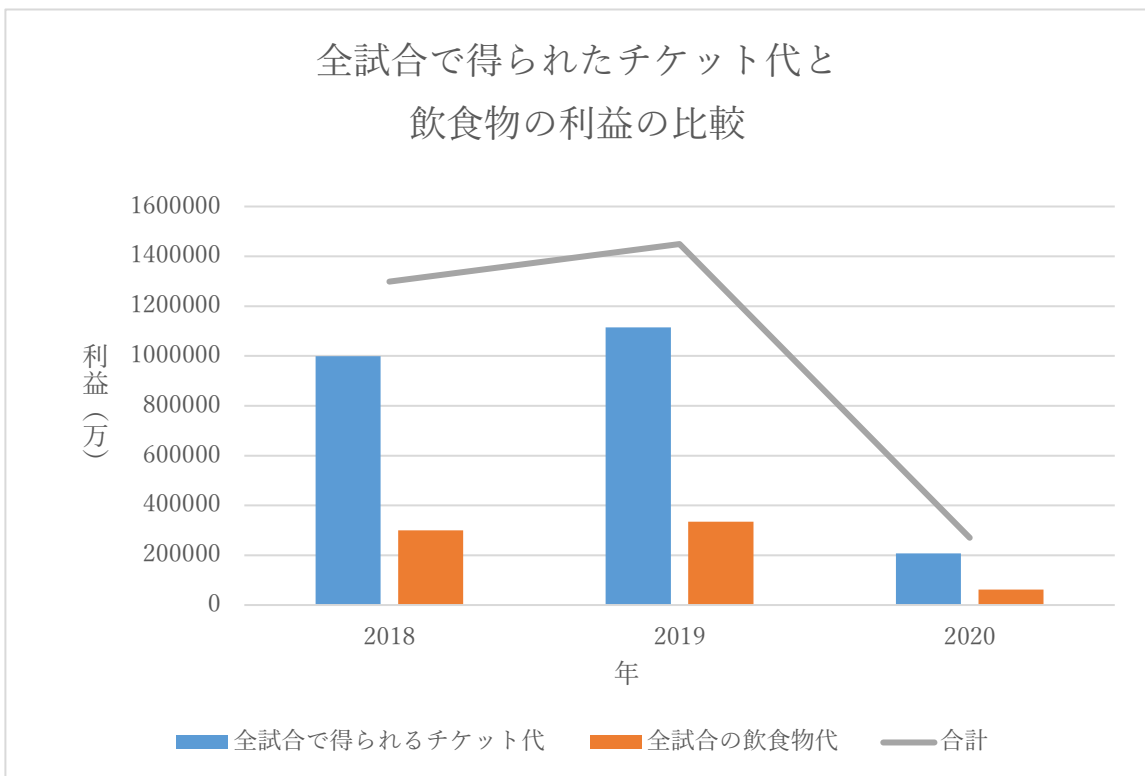
(1)、(3)を合計した結果は図1のようになった。

図1



(2)、(4)を合計した結果は図2のようになった。

図2



この結果からコロナによる損失(2020年の収入から2018年と2019年の平均を引いた)は1試合あたり約1億7468万円になり、年間約110億3837万円となった。

またチケット売り上げ及び飲食物売り上げは観客数と比例関係があるといえる。

4. 考察

コロナにより観客制限がなされ、シーズン中に緩和もされたが、最終的には観客数が例年の約 20%となったため、チケット収入及び飲食物売り上げも例年の 20%になり、結果全体の収入も例年の約 20%とになったと考えられる。また、甲子園では無観客試合から観客数上限 5000 人に緩和されるとともにビールの売り子制度など飲食販売は開始されており、観客 1 人あたりの飲食物売り上げは例年と変化が見られないので、飲食物売り上げの減少に関して観客数の減少以外の要因はほとんどなかったと考えられる。

5. 結論

新型コロナウイルスにより阪神タイガースが受けた損失は少なくとも 110 億円以上となる。また、観客数と収入には比例関係があり、観客数の変化は収入に大きな影響を与えているといえる。しかし、本研究では観客数制限によるチケット売り上げと飲食物売り上げにのみ焦点を当てたため他の要因による更なる損失は考慮できなかった。またチケット料金は全て大人として算出したため、全チケット収入の内の子供料金やしょうがい者割引などを考慮できなかった。今後は今回考慮できなかった他の要因も含めたより正確な値を出して行きたい。また、現在のコロナ状況が改善されるまでとされた後の各球団の動向にも注目していきたい。

6. 参考文献

1. ropross.net“プロ野球 Freak”. 試合日程. 2020
<https://baseball-freak.com/game/19/tigers.html>. (2020)
2. ©HANSHIN Tigers. “STUDIAM NAVI”. チケット. 2020
<https://m.hanshintigers.jp/device.html>. (2020).
3. 日本野球機構“統計データ”. セリーグ入場者数. 2019
https://npb.jp/statistics/2019/atttime_c10912.html. (2020).
4. 持永政人・西川浩平“プロ野球来場者の飲食物購買行動に関する考察”.
<https://core.ac.uk/download/pdf/230297270.pdf> (2020)